

よこのさんのうばら
横野山王原遺跡

秦野市 No.97 遺跡



1. 調査区全景



2. 弥生時代 落とし穴



3. 縄文時代 住居跡



4. 縄文時代 集石

● 主な調査成果

近世では、宝永年間(1707年)に噴火した富士山の火山灰によって埋まった耕作地を、復興させるために掘られた天地返し痕が、遺跡全面で発見されました。天地返し痕は、溝や土坑を掘って火山灰を廃棄し、掘り返した下の土を被せる作業を繰り返す、畑地を復興しました。弥生時代の調査では、深さ1.5m以上にもなる落とし穴が発見され、当時狩り場であったと思われます。縄文時代の調査では、早期、中期、後期と複数の時期にまたがる遺構や遺物が発見されました。後期では、住居跡が1軒確認され、落とし穴も発見されました。前期末・中期初頭～前葉には、調理施設と思われる集石が多数発見されました。早期後半では、浅い掘り込みの住居跡に黒曜石が集中する様子が捉えられ、石器製作址であったと思われます。

- 調査期間 2014年10月1日～2016年11月15日
2017年3月1日～2020年8月31日
- 事業者 中日本高速道路株式会社
- 調査原因 新東名高速道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
- 時代 近世、中世、奈良・平安、弥生、縄文
- 所在地 秦野市横野
- 遺跡位置 小田急小田原線渋沢駅から北に約3kmの台地上

